

「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰

団 体

**一般財団法人関西観光本部 様**

(代表：理事長 松本 正義 様)

多言語音声自動翻訳技術を活用した電話で誰でも手軽に利用できる「KANSAI SOS 多言語コールセンター」を開設し、訪日外国人対応をサポートすることで言葉の壁を無くし情報通信技術の普及と地域の活性化に多大な貢献をされました。

**京都府警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課  
ネットセキュリティ・サポートセンター 様**

(代表：所長(京都府警視) 田中 一成 様)

サイバー犯罪等のネットトラブルの予防・未然防止に資する取り組みを総務省や他団体との連携を含めて積極的に実施し、安心・安全な社会の構築のために多大な貢献をされました。

**近畿ブロックPTA協議会 様**

(代表：会長 佐々木 一智 様)

スマートフォンやインターネット等の利用に係る問題について子ども達と共に考える機会を創出し毎年「関西スマホサミット」を開催するなどインターネットリテラシー向上に多大な貢献をされました。

**一般社団法人ソーシャルメディア研究会 様**

(代表：竹内 和雄 様)

兵庫県立大学の学生を中心に子ども達とソーシャルメディアとの関わり方について参加者全員で考える機会を提供し、各地のスマホサミットの開催にも積極的に関与するなど子ども達や社会のニーズに応える活動を推進し青少年のインターネットリテラシー向上に多大な貢献をされました。

**姫路市 様**

(代表：市長 石見 利勝 様)

マイナンバーカードに搭載されている公的個人認証の利用者証明用電子証明書を活用した図書貸出サービスを導入し、姫路市だけではなく隣接自治体に取り組みを拡大させることで図書館の相互利用を実現しマイナンバーカードの多目的利用を進め住民サービスの向上に多大な貢献をされました。